

令和 7 年度 第 2 回 御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会 会議録
(令和 6 年度市民協働型まちづくり事業補助金 事業報告会)

日 時 : 令和 7 年 5 月 9 日(金)

10:00 ~ 16:30

場 所 : 御殿場市林業会館 2 階 第 2 研修室

1 出席者

〔御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会 委員〕※敬称略

勝又 啓、高橋 美佳、勝又 長生、浜田 宏美、高橋 良子オザナ、川村 美穂、立道 佳之、
高瀬 宏樹、刈山 祐江、芹澤 直己、中村 大輝、中村 周平、瀬戸 瞳 計 13 名

〔御殿場市市民協働型まちづくりアドバイザー〕※敬称略

牛山 久仁彦 (明治大学 政治経済学部教授)

〔事務局(市民協働課)〕

高村課長、福島統括、梶副主任

2 令和 6 年度市民協働型まちづくり事業補助金 事業報告会 [10:15~13:50]

〔内容〕

令和 6 年度御殿場市市民協働型まちづくり事業補助金の実績報告のため、各団体・担当課の事業報告、質疑応答等を実施。「御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会」の委員 13 名を評価者として、前年度に実施された市民提案事業 5 事業(新規 3 事業、継続 2 事業)、行政提案事業 1 事業(新規 1 事業)の評価を行った。

【行政提案事業】

- (1) 事業名: 木育推進拠点『(仮称)富士山木のおもちゃ美術館』整備・運営に係る官民連携事業 [1 年目]
団体名: あそびの広場
担当課: 未来プロジェクト課

〔質疑応答〕

- (委員) 木育ってどこまでやっていこうと思っていますか? 発展性もあり、幅広い事業だと思います。自然環境や森が育んだものが循環していくというようなところまで行うのか、今回はとりあえずスタートとして、木のおもちゃに触れてもらって、木育の理解を広げていくのかなど、この機会に質問させていただこうかと思いました。
- (団体) おっしゃられたように、木育ってとても広いテーマだと思います。
想いとしては、御殿場市の子どもたちに自然体験をたくさんしていただいて、大きくなってほしいなと思います。ふるさとの思い出や、子どもの時の体験を心に残していきたいです。
そのために、まずは、自分たちの生まれ育った環境を大事にすることや、存分な自然体験をすることなどを、行っていきたいと思っています。
- (委員) 団体の事業に参加しましたが、子どもたちが楽しんでいるのはもちろん、それ以上に大人の方が本気で楽しんでいる姿を子どもに見せることがすごく素晴らしいことだと思いました。

来年完成するおもちゃ美術館も、人材がいないと上手く運営できないと思いますので、これからは行政の方も主体的になってくるかと思いますが、現在学芸員の養成講座に200名近く応募があるとのことでしたが、その中で、実際に活動して下さる方はどのくらいいらっしゃるでしょうか。

(担当課) 実際にご活動をいただく方、お申し込みいただいた方には、月 2 回程度の活動をお願いして、受け付けをしています。具体的には、御殿場市の観光協会の中にある観光ガイドの協会メンバーの方などにもお申し込みいただいています。

これまで活動していただいている方も、学芸員の養成講座にご登録いただいております。おもちゃ美術館を拠点に、様々な活動に広がる可能性があると考えています。

また、様々な企業などと連携できる可能性があるのかなと考えていますので、具体的な活動は、これから色々増やしていきたいと思っています。

【市民提案事業】

(1) 事業名: おもちゃ病院事業 [2 年目]

団体名: 御殿場おもちゃ病院

担当課: 社会教育課

〔質疑応答〕

(委員) 先ほど、1 件目にあそびの広場からおもちゃ美術館に関する事業の報告をいただきました。同じおもちゃの繋がり、御殿場おもちゃ病院も何か一緒に出来れば良いなと感じました。

(団体) 私たちも、あそびの広場との繋がりを意識しています。私も、おもちゃインストラクターを受けました。また、おもちゃ病院の講座にも参加していただく予定になっています。繋がりをもって一緒に盛り上げていければと思います。

(委員) 収支決算書の消耗品の内訳の記載がかなり大変な作業だと思います。補助金の活用でなければ、もう少し違った報告にもなると思います。このような報告をしなければならないのか確認したいと思いました。

(担当課) この事業は、消耗品の数かなり多くなっています。理由としては、修理を行うにあたっての部品購入などが多くあるためです。補助金の報告では、内訳の詳細を求めるようになってくるかと思っています。

また、補助金がない場合の報告につきましては、自己資金であったり、協賛であったりと形が変わってくると思いますが、その時々合った報告、様式を活用していきたいと思っています。

(委員) 来年度以降の団体の自立に向けて、収益性などどのように考えているのか教えてください。

(団体) すごく難しい課題だと感じています。会場費が一番のポイントだと思っています。今年度は値上がりもありました。体験会などの事業で半分くらいは賄える想定です。

残りの半分以上をどのようにしていくかを考えていますが、支援先を探したりなどしています。

また、今年度は G コインを取り入れました。現金だと払えないけど、G コインなら修理の時に寄附しても良いかなという方にも対応していければと思います。

- (2) 事業名： 地域コミュニティ「GOTEMBA MEETING」の運営事業 [1 年目]
団体名： GOTEMBA MEETING 実行委員会
担当課： 市民協働課、都市整備課

〔質疑応答〕

- (委員) 事業の成果で、若い方たちが参加してくれて、様々な触れ合いがあったというお話がありました。事業を通して、ボランティアから次年度の実行委員メンバーになり、人数が増えたとなりましたが、実際どのくらい増えたのか教えてください。
- (団体) 昨年度は、5名でしたが、今年度は、8名になりました。昨年度から引き続きの方が4名、新しい方が4名となります。
- (委員) このような若い方が集まって、やってみたいことが出来る事業は中々ないと思います。思い立って出来る事業、それがお試し感覚で出来るというのが、若い方が社会に出る上で大変必要なことだと思いました。
- 補助金活用期間が終了しても、ぜひ継続して実施していただきたい事業だと思いました。

- (3) 事業名： 御殿場市民を応援する「ごてんばベース」 [1 年目]
団体名： 子育て支援団体 はぐっと
担当課： 都市整備課

〔質疑応答〕

- (委員) 子育て世代の方からニーズも高く、反響も多かったということで、素晴らしい事業だったのかなと感じています。
- 今回は、まちづくり推進課と協働で取り組んだということで、中心市街地活性化と子育て支援という2つの目的があったと思います。中々、中心市街地のお店の方からも厳しい意見を聞かれたということですが、今後の展開としては、中心市街地に関わらず、事業に賛同してくれる方やお店とかから募集しても良いと思いますが、今後はどのように考えていますか。
- (団体) お母さんたちの声から、駅前以外でも、自分たちも行ってみたいけど子ども連れで行っていいのかなというようなお店の名前も挙がっていますので、そのお店の方にも今後お声がけをしていきたいと思います。協働事業は、中心市街地を中心に事業を行っていましたが、今年度は補助金を活用しないので、今後は幅広く事業を行えればと思います。
- (委員) 評価シートの課題解決が、団体も担当課も C 評価でしたが、なぜ C 評価になったのか教えてください。
- (団体) 最初にお声がけをし、反応が良かった店舗がありましたが、協働事業が始まり改めてお願いに行った時に、事業を実施する時間帯に店舗を借りることが難しく、事業を実施できる店舗を集めることが難しかったためです。店舗によっては、事業実施の時間帯に、人件費を割けないという課題もありました。
- (担当課) 行政側からも連絡をしたのですが、昼間仕込みを行っていたり、店舗に人は居るけどシャッターが閉まっているという店舗の状況がありました。
- (委員) 今回12回実施する予定で、結果4回の事業実施になったと思います。大幅に事業回数が減った中で、使用料などが当初の半分で、補助対象外経費の人件費は当初の予定通りになったのは何か理由がありますか？計画通り12回実施した場合は、予算が大幅に超えてしまうと思ったので、どのように計画していたか教えてください。

(団体) 使用料に関しては、トラットリアフィレンツェは当初店舗の一部を借りて行う予定でしたが、貸切でランチタイムに借りたので、収支決算書に記載の使用料をお支払いしました。借りた店舗によっては、ボランティアでも良いよと言ってくれた店舗もあったため、店舗によって費用が変わっています。

人件費に関しては、当初よりもスタッフが多くなってしまいました。12回実施していたら予算を超えてしまったと思います。

(担当課) 参加者が想定していた人数より多く集まりました。

12回実施した際には、スタッフの人数も調整したかとは思いますが、そのまま使い切ってしまったという結果になってしまいました。おそらく、予定通りにやっていたら他の事業費がかかってしまった可能性はあるので、計画通りではなかったというのは反省するところです。

(4) 事業名：『ごてんば子どもの多様な学び場・居場所マップ』プロジェクト [1年目]

団体名：ごてんば子ども支援ネットワーク

担当課：子育て支援課、社会福祉課、学校教育課

(委員) 良いマップが完成し、これから活用できると思いますが、例えばサイトやインターネットから検索できるようなものを構築していく展望がありましたら教えてください。

(団体) マップの印刷が1年目は2500部程度出来ました。データ版は、御殿場市のSDGs交流サイトに活動の趣旨や報告と合わせて、最新データを載せて印刷できるようになりました。

2年目はより利便性も考えていきたいと思います。

(委員) 団体にリンクできると便利だなと感じました。

(団体) 今後、子ども若者サポート会議で、例えば高校生や大学生など若い方の意見を取り入れたイメージがありました。その方たちの教えや力も借りながら、ネットやSNSなどの構築を行っていければと思います。

(委員) 完成したマップは、どのような場所で、どのように配られるか教えていただければと思います。

(団体) まずは、学校教育課の方に何部ずつで、どのように学校の先生や保護者の方に周知が出来るのか相談していきたいと思います。それ以外の部分は、マップに掲載されている施設や市内公共施設への配架を現時点で考えています。

(5) 事業名：ボランティアガイド養成講座 [3年目]

団体名：御殿場ボランティアガイド協会

担当課：観光交流課

(委員) 外部の方から見た時に、ガイド代はいくらになるのか気になると思います。ホームページなどのコンテンツがあると良いなと思いました。

(団体) 私たちの団体は、ボランティアガイド協会なので、無料ではないですが、かかった費用をいただくようにしています。桜祭りは、100円でやらせていただきました。お土産も渡しているので、実は赤字です。

また、民間業者からの依頼もいくつかありまして、それに関しては事前の打ち合わせで会の内規に基づいて、実施しています。また、人数によって、費用を話し合っています。

今後は、ボランティアガイド協会としては、研修部やガイド部など部会の中で1つNPOなど

ボランティアを除いたガイド団体をつくっていきたいなと思っています。後は、コースや歩けるガイド人数などを設定しています。

3 第 2 回 御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会〔14:10 ～16:30〕

〔内容〕

事業報告会での事業報告及び質疑応答の状況、報告書の内容、採点結果、委員からのコメント等を踏まえ、各事業の実施内容及び実績について協議を行った。

【行政提案事業】

- (1) 事業名： 木育推進拠点『(仮称)富士山木のおもちゃ美術館』整備・運営に係る官民連携事業 [1年目]
団体名： あそびの広場
担当課： 未来プロジェクト課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・住民との協働や参加の仕組みが明確で、地域に根差した持続的なまちづくりが期待されます。
- ・様々なイベントや木育体験を通して、木育推進や意義を市民に周知出来た事業だと思います。木育推進の拠点施設「富士山木のおもちゃ美術館」の PR にも行政と一緒に関わり、また団体の専門性を生かし木育推進機運が高まった。また、学芸員が 200 人と増え幅広い事業となったが行政がサポートし、目的に沿って課題解決にも向かっている。法人化になり今後は、市の事業の受託が出来るよう更なる活動を期待します。
- ・木育推進は、獣対策としても重要で奥山と里山の再生まで取り組めると美術館としての深みも出来るのではないかと考えています。高度経済成長期に、針葉樹を大量に植林した結果、生態系のバランスが崩れまた富士山噴火への備えとしても、保水力のある広葉樹林が形成できると市民が避難できる時間を確保できるので、木育を通じて自然環境のバランスを学ぶ施設になればよいなと考えています。
- ・委託とは違い、しっかり協働できている印象を受けた。行政の一大事業を民間から盛り上げていくという意思を感じた。
- ・主に年少の子供と子育て世代を中心に注目を浴びている事業のため、期待度が年代により大きく差があるが、木育インストラクター、おもちゃインストラクターの養成講座に多くの受講があったことは団体・行政の十分な宣伝があったからだと思われる。建設が始まることで今後さらに注目や期待が寄せられると思うが、適切な運営に向け頑張ってもらいたい。
- ・木の温もり、心豊かさを育む素晴らしい活動ですね。自然豊かな御殿場の有り難さを最大に生かすものですね。
- ・おもちゃ美術館のオープンに向け、事業の発展の可能性を感じた。「イベント等を多く行い過ぎた」とのコメントがあったが、これからは定期的なイベントの開催で、広報し定着させていくのがよいのではと思う。
- ・木育は今の子供にとっても必要だと感じます。木の香りはどの世代にも気持ちいい、体にもいいと思うし、SDGs を感じられます。そして、いろんな世代の関わりを感じられるので続けて欲しいです。
- ・団体が法人化され、着実に先へ進んでいると見受けられます。施設が核になりつつ、様々な団体の連携につながっていくと良いなと思います。

- ・久しぶりの行政提案事業で活動に注目をしていました。視察を兼ねてボランティアで何度か顔を出させてもらいました。富士山おもちゃ美術館への期待の高さと、子供だけでなく大人が真剣に遊んでいるのが印象的でした。来年の夏にできる富士山おもちゃ美術館に向けて、人材育成活動や普及活動も多くこれからの活動にも期待しています。
- ・おもちゃ美術館開館に向け着々と活動されていて素晴らしいです。おもちゃ学芸員も期待しています。
- ・おもちゃ学芸員に 200 名の申し込みがあるなど、協働の効果がでているのではないかな。

【市民提案事業】

- (1) 事業名: おもちゃ病院事業 [2 年目]
 団体名: 御殿場おもちゃ病院
 担当課: 社会教育課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・事業計画が具体的かつ実現性にも優れている。着実に事業を進め、広く知っていただけるのが伺える。更なる活躍を期待します。
- ・協働することで広く市民に知ってもらえ、活動の幅が広がったと思います。4つの課題解決のプロセスが事業内容から分かり効果があると感じました。参加費もしっかりとり運営がうまくいってくとと思います。
- ・年代によっておもちゃのニーズが変わる一方で、自分自身も思い入れのある物があり、再度遊べるという体験は大きな財産になるものと感じています。環境負荷の点でも買って廃棄というよりは買ったものを再利用、または再生するというのは今後も重要になってくるものと考えています。
- ・SDGs の観点からも良い事業。自立に向けた検討が必要。アンケート調査などで意識変容の効果も可視化すべき。廃棄物業者やリサイクル業者との連携が考えられる。
- ・非常にニーズが高く、定期的なおもちゃ病院の開催の他、広く市民が利用できるような手法、担い手の育成が進められており、世代間交流の場として有効だと感じた。無理のない開催時期や規模であり、今後もぜひ継続して行ってほしい。
- ・物を大切にするという観点からも今こそ大事にするべきことだと思います。使い捨ての時代に真逆の精神、素晴らしいと感じた。直してでも使うずっと身近に置いておく大切さ大人になっても重んじていきたいですね。
- ・子どもへ物を大切に使うことや、壊れても直せることを伝えられると共に、技術を持っている人材の活用や世代間交流も目指せる事業だと思った。関連団体とのコラボ等、活動の幅を広げられる可能性を感じた。
- ・大好きな団体です。子どもから年配の方までがおもちゃを通して関わることができるのがとても良いです。今後とも続けて欲しいです。
- ・とてもよい活動なのでどのように自立していけるかが大事だと思います。2 年目までに着実に活動を進められているのでテーマにあげている 3 年目の自立準備が大事だなと思います。
- ・事業の認知度が上がっているのを実感しています。待合室などで世代交流やお子さんと一緒に修理等交流の機会の場としても期待しています。今後は自立に向けて自己資金をどう作るかを皆さんにアドバイスいただきながら進めてもらえればと思います。

- ・木のおもちゃ美術館とのコラボレーションを期待しています。材料費以外の修理代は定額を定めなくても募金、寄付金方式でいただけたらいかがでしょうか？
- ・利用者の負担金が増える場合等の利用希望について、アンケートを取るなどしてもよかったのでは。市の支援内容が分かりにくかった。

(2) 事業名： 地域コミュニティ「GOTEMBA MEETING」の運営事業 [1 年目]

団体名： GOTEMBA MEETING 実行委員会

担当課： 市民協働課、都市整備課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・若い世代が集まり、御殿場を活性化させていくとても前向きな事業であると思います。さらに活動を広げ盛り上げていただきたい。
- ・個々が抱える課題を「見える化」し、魅力的なまちづくりや地域の活動の担い手づくりに、みんなが集まる場づくりを行い、その場で市民の声を聞き「やりたいこと」を実行していくことは素晴らしい企画です。
- ・何かをやってみたい人が何かをやる場を提供するというコンセプトには共感いたします。一方で、何かをやるがイベントに収斂してしまい、一過性になるのではとも感じ、継続的に何をしたいのかが見えてこないのが課題なのかとも感じました。
- ・新たな市民活動の入口、受け皿になったのは良い。お手本になる事業になり得る。固定化しないで団体活動の新陳代謝を図ってほしい。
- ・団体、ボランティア、市担当課それぞれの目的意識や意欲的な姿勢が伝わってくる事業だと思う。今後も盛り上がり期待できるような感想・期待も多く、市としての活性化につながっていると感じた。ぜひ継続して実施し、個人や団体の力をさらにかけ合わせていってほしい。
- ・きっかけになる母体が確立されていることは活動を始めるのに必要です。各々にとっての拠り所となると良いですね。
- ・始めは謎な事業でしたが、はじめの一步からみた結果、いろんな人との繋がりや新しい事業の生まれがあり、とてもユニークで発展性の高い団体だと感じています。
- ・きっかけづくりになったり、やりたいことを後押ししたり、新しいかたちでのソーシャルコミュニティが作られていると思います。メンバーを加えてどのように歩みを進めていくか期待しています。
- ・交流の場となり、新たな事業やコラボとなる「場」の提供として期待している。
- ・講演会、イベント参加しました。やってみたいをかたちにするという内容が良かったです。そのアイデアを繋ぐ先が行政と担えたらいいと思います。
- ・マーケットがこれまでイベントへの出店などを経験したことがない事業者のはじめの一步になる可能性を感じた。

(3) 事業名： 御殿場市民を応援する「ごてんばベース」 [1 年目]

団体名： 子育て支援団体 はぐっと

担当課： 都市整備課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・駅前の商店街の理解度が足りず、少し残念に感じます。また予定していた事業回数も足りないことも補助事業として欠けていたのかを感じました。

- ・当初より開催回数が減ってしまったことと、両者の協働事業成果・効果で課題解決がC評価となると、目的達成に近づけた事業だったのでしょうか。店舗の苦情があり協力店舗に苦慮され、また市役所との連携や協働が難しかったのを理解しました。
- ・子育て世代と現状の御殿場駅前を考えた場合に、相性はあまり良くないのだろうと想像することができ、報告書の内容と相違ないと感じました。事業の性質上、駅前よりは違う地域で行った方が、ニーズともマッチするのではと考えますので、今後の活動において駅周辺に拘る積極的な理由がない限り、ミスマッチになり発展性が阻害されるのではと考えています。
- ・中心市街地に限らずやってみては。手上げ制とかでやりたい店舗はありそう。事前にはリサーチをもう少しすべきだと感じました。
- ・駅前の活性化は市民・地域・市ともに大きな課題となっている中、日中の活動がメインとなる子育て世代にアピールできた、地域の実情がより明確にできたのでは大きな成果であると思う。団体自己資金からの持ち出しが大きくなってしまったこと、対応できていることは素晴らしいので、団体としての活動を無理せず継続していつてもらいたい。
- ・実施してみて初めて分かる課題等もあるでしょう。頑張ってください。
- ・駐車場の確保が大変そう。
- ・「はぐっと」は託児サービスの団体という認識しかなかったので、今回の活動報告を聞き、理解が深まった。計画を実施するにあたり、スタッフが欠けても実施できる体制を整える必要を感じた。ニーズが多いと思うので、駅前や市内に限らず事業展開を期待したい。
- ・子どもと子育てをしている親にとっても良いと思います。少し理解が御殿場市からありましたが、それを乗り越えられたらさらにパワーアップ間違いなしです。
- ・様々な問題は表出したけれども駅前店舗の課題や現状を把握することができてよかったのではないのでしょうか。一方で子育て家庭の方々のニーズも放っておけないと思うので、駅前に関わらずこういうスペースや機会を活かしていくのも団体にとっても大切だなと思います。
- ・期待していただけあって、回数や内容も計画性に欠ける事業で残念でした。協働は終わってしまいますが、団体、担当課とも課題が見えてきていると思いますので、駅前の方々とこれからもコミュニケーションを取っていただきたいと思います。よろしくお願いします。
- ・企画としては良かったのですが、実施できず残念でした。飲食店以外の場所でテイクアウトの食事をメインにするなどしたら、良かったと思います。
- ・ニーズは高かった。昼にシャッターが閉まっている。行けるお店が分からないというのはそもそも課題なのか？ある意味、あえて昼に（営業時間外に）店を開けてもらう意義が分からなかった。

(4) 事業名：『ごてんば子どもの多様な学び場・居場所マップ』プロジェクト [1年目]

団体名：ごてんば子ども支援ネットワーク

担当課：子育て支援課、社会福祉課、学校教育課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・現代のデリケートな課題に取り組み、マップの作成を行った事業が非常に分かり易く、今後必要なものだと思います。今年度の取り組みにも期待しています。
- ・マップが見やすい。市民に活用してもらえるのでは。
- ・社会的な課題として捉えてしまったり、個性と言い換えたり様々な試みがある中、多様性という言葉だけで表現していいものかどうか、常に疑問を感じています。同じ人間がいない以上、それぞれ

に特徴がある一方で全員が夢を叶えることが出来るわけではないので、大人が子供の発達過程を学ぶことは社会人になった後も新人教育にも活用できるものと感じているので重要なことだと考えています。

- ・SNSやコミュニティとの連携をよりできると良い。デザイン費は補助対象でも良いのでは。マップと公園の内容がより結び付いたものになると良い。
- ・本事業補助金を活用しての活動が初めてであり、多忙な中での準備・運営について次年度へ向けた課題が明確になったことで、次年度はさらなる期待ができると感じた。特に今回作成された居場所マップは地点情報だけでなく、短いながらも紹介文があるのは分かりやすく、活用する相手のことを考えられたデザインや内容だと思う。情報が必要な方に届くようぜひ広報を頑張ってもらいたい。
- ・幅広い目線で活動され情報を収集し提供しようとする姿勢は応援したいです。
- ・活動の効果を期待したい。
- ・ニーズの多い分野の活動だと思う。出来上がったマップやその情報を必要とする人へ確実に届くようにしてほしい。
- ・マップは、情報が必要としている方へたどり着けるために、とても良いと思っています。マップを作りながら講演会をやるのはとてもいいアイデアだと思いました。
- ・つながりを作ること、マップができたこと子どもの学びのサポートに有意義なネットワークができたと思います。さらなる広がり期待しています。
- ・マップの完成おめでとうございます。紙媒体での部数が少ないので、多くの方に見ていただけるよう市の LINE や FB での発信や関係団体の SNS など使って URL を発信して欲しい。ぜひ市民協働委員にも共有していただき、発信に協力させてもらいたい。
- ・素晴らしいマップができて市民としても嬉しいです。次年度の活動も期待しています。継続的な活動にするため収入面でも2年目は考えられたら良いと思います。
- ・行政にはない角度からの提案、取り組みができた。学校施設や掲載先施設で配布予定。それ以外は今後検討。

- (5) 事業名： ボランティアガイド養成講座 [3 年目]
団体名： 御殿場ボランティアガイド協会
担当課： 観光交流課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・地域経済や住民の交流促進に寄与する内容であり、今後の展開にも期待がもてます。ごてんばを活性化していただきたいです。
- ・観光客が旅行先で楽しめるようにサポートしてくれる観光ガイドはありがたい。私も基礎養成講座に参加させていただきましたが、参加者の多くは「御殿場に住んでいながら、自然食、歴史、文化をなんとなく知っているようで詳しくない。改めて学びたい」という市民が多く参加されており、その方たちが会員になったので良かったです。今後は自主財源で活動されるようですが、様々な方法で収入源を確保することで活動をより活性化させ地域観光の発展に貢献していただきたいと思います。英語で話せるガイドが増えてよかったです。
- ・郷土愛を育み交流人口から関係人口に発展させるために、この事業の取り組みは今後も価値があるのであらうと感じています。一方で、歴史学などは日進月歩で進んでいくので、地域顕彰的な

情報発信が増えてくると関係人口作りが難しくなるのではと考えました。会員相互の知識共有が進むとより良いのではないかと感じています。

- ・観光を主要施策とする本市にとって体験価値をあげてくれる貴重な存在。産業観光やロケツーリズムなど新たな分野の開拓もお願いしたい。はじめの一步から自立・自走できる団体に成長し、素晴らしい。
- ・ガイドの高齢化や人材不足が懸念にされる中、団体と市担当課とが協働して講座を開催していることで、多くの入会希望者が集まったのだと思う。ガイドの育成には時間がかかるが、地域の力を生かしつつ、緩やかな世代交代や盛り上がりが続くことを期待している。
- ・御殿場のすばらしさを県外の方に伝えたいと日頃から思っておりましたので、応援した活動だなと思いました。
- ・みくりやの風など連携、関係性は？
- ・ボランティアの人数が増えたことで、今後できる活動の幅を広げることができる。御殿場市の魅力の発掘にも繋がり、今後の活動が期待できる。
- ・富士山がある御殿場市に観光ガイドはなくてはならない団体です。ぜひ今後とも続けてください。
- ・年を追うごとに人数が増え、自立へ進んでいると見え、いい流れで好事例だと思います。質問にあったように、ボランティアでやる部分と生業としてやる部分の整理がこれから必要だと思います。
- ・協働によりガイドの人数が増えて、活動の場が広がったことは御殿場市にとってもすごくメリットがある事です。まだまだ知られていない部分が多いと思うので HP を作る。SNS での発信などをするとより多くの方に知っていただけたと思う。それによりガイドの人数が増える、御殿場への来訪者が増えるなどプラスになっていくのでぜひ市の担当課もアドバイスしながら進めて欲しいです。
- ・4 年間で着実に活動の幅とクオリティが上がっていて素晴らしいです。今後もガイドが増えるよう行政との結びつきをもってもらいたいです。(特に時代の若手も)
- ・団体が着実に発展している。観光ガイドのニーズが高い中で、行政としても助かっている。

【はじめの一步事業】

- (1) 事業名： お子様向けスケートボード体験会
団体名： 御殿場市スケートボード振興会
担当課： スポーツ交流課・都市整備課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・行政との連携により、個人や民間では使用が難しい公共スペースを活用し、安心・安全な体験会の実施に成功している点は、補助金の効果的な活用例として高く評価できます。
- ・体験会お疲れ様でした。今後の資金面での課題も市と取り組めたらよいと思います。
- ・行政の支援の必要性について、評価対象外としました。理由は、行政の思惑もあり駅前で実施せざるを得なかったのではないかと感じてしまったためです。計画の妥当性についても、アーバンスポーツとは言え、駅前で実施する必然性を感じづらく、安全性や今後の発展を考えた場合は不都合が多いただろうと感じたので、低い点をいたしました。一方で、アーバンスポーツは見ても楽しいものなので、発展性については評価できるものと考えています。公共の福祉に反しない限りスポンサーや参加費など行政的な枠組みに縛られない資金で行えると良いなと考えています。

- ・馴染みの少ないスポーツを知る・見るところから始まると思うので体験会は良いきっかけになりますね。性別・年齢を問わず行き交う駅前広場での開催は周知を目的のひとつにしている点でもとても良かったと思います。堀米選手たちの活躍でスポーツとして確立されてきたと思いますので必要道具をレンタルで有料制にしても良いのではと考えます。
- ・東京やパリオリンピックの活躍は青少年の可能性を知らしめ、世代を超え評価される。小一と幼稚園年長の孫もリップステップボードを乗りこなす。ただし、練習場所が限られ、親は別のスポーツに誘導してしまう。沼津に施設ができたという。小山町・裾野市と協働し富士山を背景に全国大会を開催できる施設を目指したら如何でしょう！
- ・スポーツ競技は記録や得点を競うイメージが強いが、スケートボードはお互いのパフォーマンスを讃え合う姿が印象的です。オリンピックでの日本選手の活躍を見て、自分もやってみたいと思う人は多いと思います。二子区内にアーバンスポーツの整備も計画されているようなので、今後も安全に配慮したかたちでの体験の場があれば、市民の理解が深まり、楽しむ側のマナー向上につながると感じました。
- ・子供が安全にそして、マナーと共に体験と学びが出来て、御殿場市にも市民にもとても良い機会だと思います。ネット時代の子供が多い中、体を動かし外でスポーツをする楽しさ、健康で育つ楽しさが体験できたように感じました。続けて欲しいです。
- ・東京オリンピックでスケートボードが正式競技となり、注目が集まってきました。お子様向けスケートボード体験会を開催することで、スケートボードの楽しさを普及できたことはとても良かったと思います。今後スケートボードをする方が安心安全に練習場で出来ることを望みます。今回の協働事業で終了してしましますがその理由を知りたいです。
- ・補助金を活用せずに自立して活動を継続されることは、望ましいと思う。一方で、公共的事業に関する理解が不足していたという反省は市民協働型事業全体でもクリアしなければならないと思う。
- ・協働を通して、団体とのパイプができたのは大きい。今後はスポンサー協力での体験会となるようだが、スポーツタウン御殿場として御殿場の立地(都市から近く、広い公園があるなど…)を生かして、スケートボードが出来る場所を増やしていけると良いと思います。
- ・「事業目的」に課題と背景しか書かれておらず、目的が不明。「市民へのスケートボード競技の認知度向上・理解促進」が目的でよい？「参加者の数は事業目的に対して多かったのか、少なかったのか」「参加者の属性はどうだったのか」「参加者や駅利用者からのアンケート結果」などが無いと事業効果を評価できない。スケートボード競技普及に対するハードルの高さを競技者が認識できる良い機会になったのではないか。その意味で協働の価値はあったと思う。公費に頼らずスポンサー獲得で自立を目指す姿勢は評価できる。若者の流出が著しい御殿場市にとって、ぜひ今後も団体に頑張っていただきたい。
- ・ストリートカルチャーの要素を含む活動が、市民協働事業という形で市と連携して実施されたことは市民行政と調和したアーバンスポーツの育成という面で市にとって大変意義深い事業になったものと感じます。駅前という空間を利用したことも、楽しさや非日常感、通人へのPR効果等につながっていたと想像します。一方、今回の事業そのものによる効果は現時点での具体的なものではなく、今後の継続実施による体験者の増加や類似の事業が行われえるアーバンスポーツへの理解やマナーの向上等によって成果が生まれたといえるものに留まったかと思います。

- ・スケートボードを安心してできる場所があまりない中で、沢山の市民やプレーヤーに知ってもらえるいい機会だったと思う。報告書からは実施時の膝あて・肘あてはつけていない様子が見受けられたが、転倒時のリスク軽減のため、また、たまたま居合わせたり、通りかかったりした駅利用者などが安心安全に開催していると理解できるように、初心者が多い体験会では膝あて・肘あてがあると安心だと感じた。

- (2) 事業名: 『ゆるカヤ』ゆるくカヤとつながろうプロジェクト
団体名: 御殿場の茅文化を守る会
担当課: 社会教育課・観光交流課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・子供から大人まで幅広い世代に対して茅を身近に感じてもらう機会を提供しており、地域資源を活用した交流・教育の面でも波及効果が大きい事業と感じました。
- ・活発な活動が SNS 等を通じて、伝わってきました。今後も体験型イベント期待しています。
- ・富士の麓の茅は業界的には非常に有名ですが、御殿場市民を始め、多くの方には馴染みのない産業だと思います。また、後継者不足や茅を使う機会の減少により産業としては斜陽にあるものと感じています。伝統産業と位置づけられると日用品から非日用品になってしまい、ますます間口が狭くなってしまいますので、茅を日用品として身近に感じてもらえるような広報ができると産業としての基盤が強くなりますので、後継者不足も解消できるのはと考えています。
- ・御殿場の財産ですね。広く多くの市民に知ってもらう為、小学生の宿題対策だけでなく大人対象のワークショップも開催するのはいかがでしょうか。全戸配布できる広報誌で周知していただければ広く参加者を募ることが出来るのではないのでしょうか。茅の一大産地で腕ききの茅職員が集まる御殿場だということを一人でも多くの市民の方々に認知して欲しいですね。
- ・永井理恵子さん「富士山の裾野から各地へ。文化財の茅葺屋根を支える御殿場産の茅」の記事を見て、中学生の時、生家の葺替え体験し、高校時代まで茶畑に敷く萱刈を手伝った事を思い出しました。日本一と云われる御殿場の茅場が「ふるさと文化財の森」に指定されていないようですがなぜですか？
- ・御殿場から出荷される茅が、国内の沢山の屋根に使われていることをもっと市民に知ってもらう機会があればと思いました。市の大切な産業として、市民だけでなく職員への周知の機会がもっとあれば良いと感じました。会の今後の活動に期待したいと思います。
- ・カヤブキという文化の素晴らしさが広まり、さらに次の世代へ伝えることが出来る良い団体だと感じました。それと、御殿場と白川郷がつながっていることをより多くの方に知ってもらえて、さらにこの二つの町の友情が深まったと思います。
- ・御殿場の茅を市民に知ってもらう目的、協働による取り組みを広げていく意欲、モデル的な事業など両者とも B 評価でしたが、市内外からの参加者から、賛同や継続した開催の声があるので、今後はさまざまなイベントに出展し、御殿場の茅の魅力を継続してPRして欲しいです。3 回のイベントを行い、それぞれの参加人数と参加費の記載が収支決算書になかったので、書類審査のみですから知りたいです。
- ・文化、伝統、産業、観光と様々な分野にまたがる活動なので、団体の立ち位置もしっかり見つめなおす必要があるのではないかと思った。イベントをサポートするだけでなく、基礎づくりもサポートすることが必要なのだと思う。

- ・市民協働を通じて、知ることができた御殿場の力やにとって特産で全国でも他にはないものなので、団体や事業者と共にこれからも広くアピールして担い手不足解消に力を入れて欲しいです。それには市の力が大きく必要だと思う。これからの活躍も期待しています。
- ・「ゆるく広く多くの方に知っていただく」という目標に対してどの程度事業効果があったのかが判断しにくい。例えば駅構内の展示にボードを用意しておき、見た人にシールを貼ってもらうなど事業効果測定の手法を検討してみても。報告資料にワークショップ等実施事業の記録画像が欲しい。茅産業は御殿場が国内や世界に誇る貴重な地域資源であり、茅の認知度向上や担い手確保につながるこの取り組みの意義は非常に大きいと思う。
- ・御殿場の茅について、その価値や認知度を高めていくことはとても大切なことと思います。資料にあるワークショップやイベントから、団体の前向きな想いが伝わってくるように感じます。イベントへの出展や、インパクトのある取り組みなど団体の活動や市のバックアップの中で事業が発展していくことを期待します。
- ・今回の事業は貴重な文化や技術、団体の熱心な活動を広く知ってもらい、担い手不足を解消するために有効な事業補助金の活用だと感じた。茅葺で有名な白川郷との連携はとても有効的なイベントであり、反響も多かったようだが、次年度は団体単独で広報や活動を進めていくということで、また違う関係者や繋がりが増えて活動の周知や内容が広がっていくことを期待している。